

Microsoft パワーポイント用 「ボタン作成」ツールについて

広島大学医学部附属 医学教育センター 松下 毅彦

この文書では、当センターで開発したMicrosoftパワーポイント用「ボタン作成」ツールについて説明します。このツールは、教員がこれまで講義で使っていたパワーポイント用のファイルをeラーニング用の教材に容易に改変できるよう、設定したページに移動するボタンを簡単に置くためのものです。

eラーニングを教育に導入するにあたっての最大の問題点は、教材を誰がどうやって作るかということにあります。eラーニング教材を作るツールはいろいろなものが提供されていますが、教材をゼロから作るためには、どれも大変な労力と時間を要します。従来講義で教えていた内容についてeラーニング教材を作ろうとする場合、それまで講義で使っていたスライド上映用のパワーポイントのファイルがあることが多いと思います。そのスライドには重要なことが網羅されているはずなので、これを流用して教材化するのが最も手間のかからない現実的な方法であると思います。そのためには、学生が1人で学びを進められるようにコントロール用のボタンを設置する必要があります。このツールは、そのボタン設置を支援するために開発しました。

動作条件

このツールは普通にインストールされたMicrosoftパワーポイント上で、アドインプログラムとして動作します。利用するためには、まずパワーポイントがインストールされている必要があります。Windows版のパワーポイント2010以降で動作します(32ビット版でも64ビット版でも動作します)。2007以前のパワーポイントでは動作しません。また、一部の機能はWindowsのAPIを呼び出して使っているため、Macでは動作しないものと思われます(テストできる環境がないため試していません)。ご了承ください。

利用条件

商用利用以外でしたら、ご自由にお使いください。また、再配布も自由にしていただいて結構です。ソースも公開しているので、使いやすいように自由に改変していただいてかまいません。ただし、改変したものの再配布はご遠慮ください。

機能と使い方

起動すると下のようなフォームが表示されます。

The screenshot shows a dialog box titled "ボタンの作成" (Button Creation). It is divided into several sections:

- ボタンの大きさ** (Button Size): Radio buttons for 大 (160×50), 中 (140×40), 小 (120×30), and 指定 (Specify). Below is a text input field with a multiplier "x".
- ボタンの色** (Button Color): Radio buttons for six colors (cyan, green, yellow, red, magenta, blue) and 他の色 (Other color).
- 文字の色** (Text Color): Radio buttons for six colors (cyan, green, yellow, red, magenta, blue) and 他の色 字 (Other color text).
- フォント** (Font): A text input field containing "MS Pゴシック" and a size input field set to "24 pt".
- ボタンの作成** (Button Creation): A grid of button positions: 上左, 上中央, 上右, 中央左, 指定位置, 中央右, 下左, 下中央, 下右. The "指定位置" button has two input fields for "左から" (from left) and "上から" (from top).
- リンク先** (Link Destination): Radio buttons for "ページ" (Page) and "URL", with a corresponding text input field.

- ・ ボタンの大きさはあらかじめ3種類用意してありますが、任意の大きさも指定できます。
- ・ ボタンに表示する文字列はあらかじめ5種類用意してありますが、任意の文字列も指定できます。
- ・ ボタンの色はあらかじめ6種類用意してありますが、任意の色も指定可能です。その場合、「他の色」を選択すると、色選択のダイアログボックスが現れ、自由に色を選ぶことができます。選んだ色は、右側の口印の色で見ることができます。
- ・ 文字の色はあらかじめ6種類用意してありますが、任意の色も指定可能です。その場合、「他の色」を選択すると、色選択のダイアログボックスが現れ、自由に色を選ぶことができます。選んだ色は、右側の“字”の色で見ることができます。
- ・ フォントはWindowsにインストールされているフォントなら自由に選択することができます。ただ、Windowsからインストール済みのフォントの一覧を取り出すプログラムが作れませんでした。そのため、フォントの名前を直接入力してください。起動時には“MS Pゴシック”があらかじめ設定されているので、このフォントでよければフォント名の欄はいじる必要はありません。
- ・ フォントのサイズは任意に指定可能です。1ポイント単位で入力してください(起動時には24ポイントがあらかじめ設定されています)。

- ・ リンク先は、そのファイル内の任意のページか、外部のURLアドレスを指定できます。ページを指定する場合は、そのボタンを押した時に移動したいページ番号を入力してください。外部のURLアドレスを指定する場合は、ボタンを押すと標準のWEBブラウザが立ち上がり、指定のページが表示されるようになります。なお、URLの欄には「http://」から記載してください。（たとえば、http://www.yahoo.co.jpと書く必要があります。www.yahoo.co.jpとだけ書くと、リンク先に移動せずエラーになります。）
- ・ ボタンは、画面の上下左右および各辺の中央部に簡単に置けるように、8つの作成ボタンを用意してあります。押せばその位置にボタンが設置されます。また、任意の位置に置くことも可能です。その場合は、自分で位置を入力してください。入力する数字は、ボタンの左上の点のスライド左端からの距離とスライド上端からの距離です。なお、普通にパワーポイントを起動した場合、画面の縦横比設定が4:3ならスライド全体の大きさは横720×縦540となり、16:9なら横960×縦540となります。参考にしてください。

使い方の例

- ・ 1ページにいくつでもボタン置くことができます。そのため、たとえば下のよう

— 問題 —

1) 温度受容器には()と()がある	解説
2) 末梢温度受容器は環境温を検出する	解説
3) 末梢温度受容器は顔面の皮膚や指先に分布している	解説
4) 末梢温度受容器には熱受容器と冷受容器がある	解説
5) 中枢温度受容器は主に後視床下部にある	解説

[一般則に戻る](#)

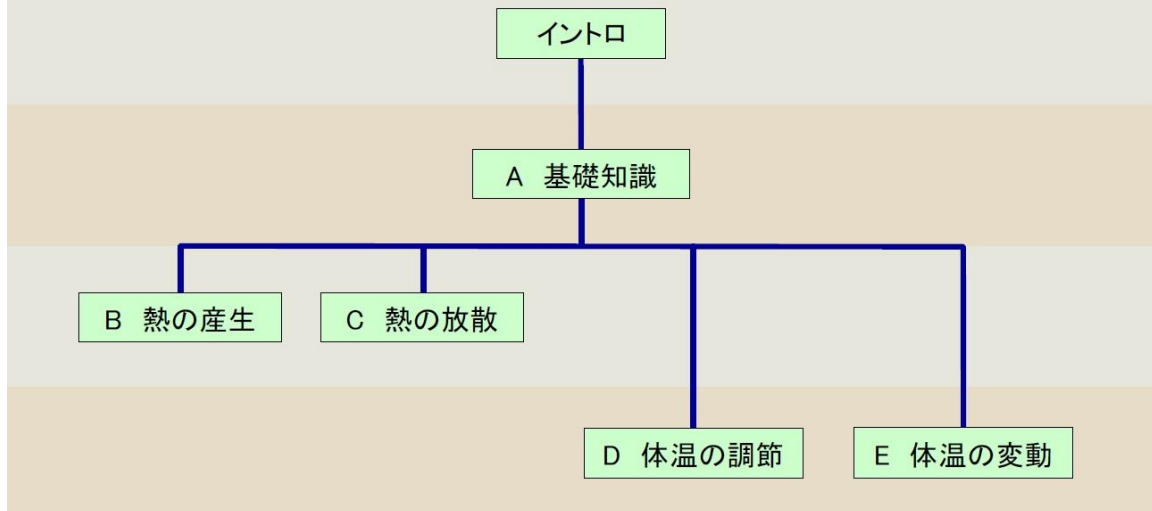
「問題」のページに複数の問題を記載して、それぞれの問題について別々の解説ページに移動するボタンを用意することなどもできます。また、下のよう

※ 必ず上から順に学習していきましょう。同じ高さにあるレッスンは並行して(順不同で)学習することができます。

体温

— ユニットマップ —

[コースマップ\(生理学\)に戻る](#)

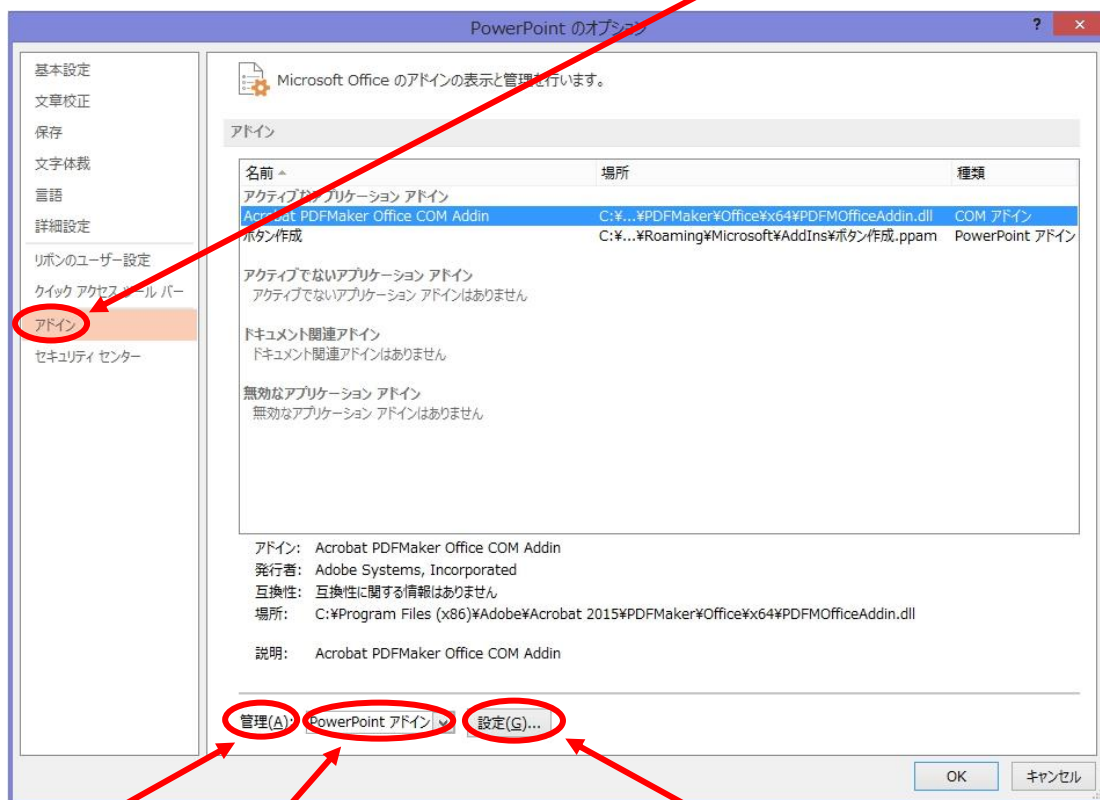


マップ画面などを作った時にボタンをマップ上に配置することもできます。

- ・ パワーポイント上のボタンは、スライドショー時にのみ機能します。eラーニング教材として使う場合、スライドショーを使ってもいいのですが、その場合、学生の方にもパワーポイントがインストールされている必要があります。パワーポイントのファイルをPDF形式で保存すると、各種のパソコンの他、ほとんどのタブレットやスマホでも利用できるようになりますので、より汎用性が高まります。ボタンの機能は、PDF形式にしても維持されます。
- ・ eラーニング教材にしなくても、通常の講義でスライドを出している時に、話の流れの都合上、4枚先のスライドを出したい、3枚前のスライドを出したい、などという場合があると思います。これまではスライドを順に送って(あるいは戻して)表示させていましたが、画面のどこかにボタンを仕込んでおくと、ワンタッチで移動することができます。ボタンに色を塗らずに枠も消して、文字列も設定しなければスライド上ではボタンは見えませんが、ボタンの場所をクリックすればきちんと移動します(どこにボタンを設置したか、自分で覚えておく必要がありますが・・・)。

インストール方法

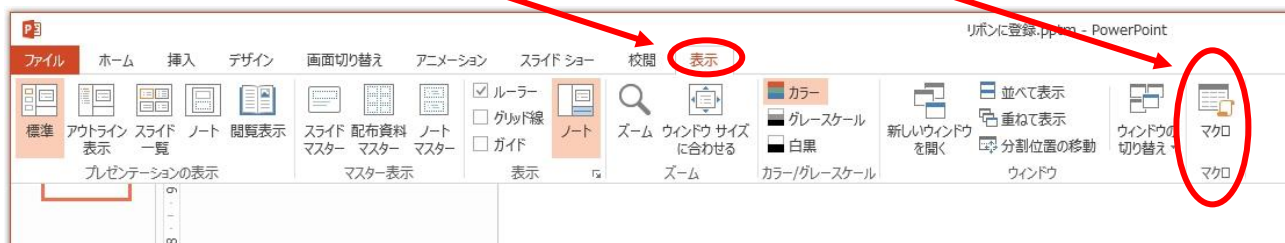
- ・ インストールには2つのファイルが必要です。「ボタン作成.pptm」にはプログラム本体が入っています。「リボンに登録.pptm」はパワーポイント上でこのツールを起動できるように、リボンに起動ボタンを登録するためのファイルです。
- ・ まず、「ボタン作成.pptm」を開いてください。開いたらそのまま、**PowerPointアドイン (*.ppam)形式**で保存してください。保存するフォルダはどこでもよいのですが、アドイン形式で保存しようとする、自動的にアドイン用の標準フォルダである
C:\Users\%(ユーザー名)\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns
に保存しようとするので、特別な理由がない限りはそのままこのフォルダに保存するとよいと思います。
- ・ 保存したら、ファイルメニューから左側一番下のオプションを選んで「PowerPointのオプション」のダイアログボックスを開け、左側の下から2つめの「アドイン」をクリックして、下側



の「管理」で「PowerPointアドイン」を選択して、すぐ右の「設定」ボタンを押してください。

- ・ アドインのダイアログボックスが出ます。「新規追加」ボタンを押すと、アドイン用のフォルダにあるファイルの一覧が出るので、先ほど保存した「ボタン作成.pptm」を選択して「OK」を押してください。これで「ボタン作成」アドインの登録は完了です（「閉じる」を押してください）。

- ・ 「ボタン作成.pptm」は閉じます(このファイルはもういらないので消去してもかまいません)。
- ・ パワーポイントの場合、アドインは登録だけでは使えません(呼び出す方法がないからです)。そこでリボンに呼び出しボタンを登録します。
- ・ 「リボンに登録.pptm」を開いてください。このファイルは、「ボタン作成」の呼び出しボタンをリボン(昔でいうところのメニュー)に追加するためだけのものです。一度実行してリボンへの登録を行ったら、以後はこのファイルは必要ありません(消去してもかまいません)。
- ・ 途中で「マクロを有効にするかどうか」を聞かれたら、“有効にする”を選んでください。
- ・ メニューから「表示」を選んで、右の方にある「マクロ」のボタンを押してください。
- ・



- ・ 「リボンに追加」を選択して、「実行」を押してください。
- ・ これで、リボンに「アドイン」という選択肢が出たはずですが。これをクリックして左端の「ボタン作成」を選び、すぐ下の「ボタン作成」をクリックするとボタン作成ツールが起動します。

使ってみてのご意見、ご感想などお寄せいただければ幸いです。

松下 毅彦

tmatsushita@hiroshima-u.ac.jp

TEL 082-257-1586